

令和3年度当初にあたり

障害者と改正バリアフリー法



長岡市身体障害者団体連合会
会長 藤田芳雄

去年は新型コロナに明け、新型コロナに暮れた一年でしたが、年が明けても、その勢いはとどまるところを知りません。

私たち長岡市身体障害者団体連合会は、肢体障害、視覚障害、聴覚障害がある人たちが構成する障害者団体の連合体ですが、聴覚障害者にとってはマスクを装着することによって口の動きが見えずにコミュニケーションがとりづらくなったり、モノに触れることを避けるために、視覚障害者にとっては買い物にも困難をきたしている毎日です。私たち障害者にとっても一日も早いコロナの終息を祈らずにはいられません。

このような中、障害のある人や高齢者の移動を円滑にする改正バリアフリー法が今春、4月1日から施行されました。

視覚障害者が電車のホームから転落する事故が後を絶ちませんが、ホームドアの設置基準を地方にも広げ、そのスピードアップを図り、低床バスの導入目標をさらに引き上げたりするなど、これらハード面の対策をすすめるだけでなく、バスや

タクシーなどでは乗務員がスロープの設置に慣れておらず、乗車を断わられたりすることへの対策など、ソフト基準への適合を義務化することで事業者側の研修などを促し、手順に習熟してもらうようにする。一方、観光庁が段差の有無や従業員の接客状況を確認し、障害者らが利用しやすいホテル、飲食店など、一定の水準を満たした観光関連施設の認定制度も導入することになっています。

この他、健常者が車いす用の駐車スペースやトイレを使うケースが後を絶ちませんが、改正法は国や自治体、国民の責務として「適切な利用の推進」を追加しています。

私自身も年に数回、市内を中心に各地の学校に出向き、「生き方をまなぶ」、「障害、私の逆転人生」などと題し、覚えたてのアマチュアマジックをまじえながら、楽しく障害者の暮らしなどを紹介しています。子供たちへの教育も、今回の改正の大きなポイントになっていますが、マジックにしろ、毎日の暮らしにしろ、私たちは「ハンディーをのりこえる」ための、何らかの工夫と努力をしながら毎日を過ごしています。

障害は「個人」の問題ではなく、「社会」が作り出すバリアです。今回の改正で障害の壁がまたひとつ取り除かれることを心から願っています。

長岡身障連かわら版

【発行人】
長岡市身体障害者団体連合会
会長：藤田芳雄
令和3年春号

第1回理事会で事業報告・計画、決算・予算、新体制を決定！

4月24日（土）午後1時30分からトモシアにおいて開催されました。

冒頭に前新潟県知事の米山隆一氏と奥様の室井佑月氏からご挨拶をいただきました。

また、今年4月の人事異動で福祉課長に就任されました山田宏氏からもご挨拶をいただきました。山田課長は前任の市民課長からの異動です。

令和2年度はコロナ禍で活動が大幅に制限され、多くの行事が中止となりました。そのような中、設立50周年記念事業は何とか開催することができ、障害者川柳を含めて、全国に向けて設立50周年をアピールでき、成功の裡に終了することができました。

普通会計の決算は、50周年記念事業のために特別会計から80万円を繰り入れましたが、コロナ禍で川柳受賞者の参加を見送ったことや記念事業の贈呈を取りやめたことなどで43万円を支出し、残金は戻入しました。また、コロナ禍で中止した行事予算等は特別会計に繰り入れ、次年度への繰越金は38,122円となりました。

新年度の主な行事は、

7月25日（日）平和の森公園清掃ボランティア、
8月9日（月・祝）第5回身障連納涼まつり、
令和4年1月23日（日）新年合同交流会を予定しています（※コロナ感染症の状況により変更する場合があります）。

令和3・4年度新役員について

身体障害者相談員について

今年度は役員改選の年度（任期2年）に当たります。今まで会計部長をしていただいた瀧澤加代子さんが県聴覚障害者福祉協会の役員となられるため退任、新たに小林秀治さん（ろう協副会長）から会計部長に、金子隼土さん（肢体協会）から事務局次長に就任いただくことになりました。

瀧澤さんには、長年にわたり煩雑な会計事務を的確に執行していただきました。お疲れさまでした。また、新任の方々、継続して役員をお引き受けいただく方には改めて会の発展のためにご尽力いただきますことをお願いします。

会 長	藤田 芳雄	視覚障害者協会
副 会 長	椀澤 春雄	肢体障害者協会
	嶋田 貞夫	栃尾協会
事務局長	土田 清海	肢体障害者協会
事務局次長	金子 隼土	肢体障害者協会
会計部長	小林 秀治	ろうあ者協会
理 事	江花 昭夫	ろうあ者協会
	五十嵐 政男	視覚障害者協会
	横山 昇司	肢体障害者協会
	剣持 辰夫	栃尾協会
	小林 信栄	中之島協会
	佐々木 雅敏	和島教会
	大淵 時江	川口協会
監 事	田辺 範男	肢体障害者協会
	佐藤 豊徳	栃尾協会
	樋山 哲雄	中之島協会

※引き続き事務局員として、小西恵子さん（ボランティア）からご協力いただけます。

長岡市から身体障害者相談員を推薦するよう依頼があり、下記の方々を各協会からの推薦に基づき推薦しました。現在、相談員としてご活躍いただいていますので、心配ごとなどありましたら遠慮なくご相談ください。相談の内容によって、適切に関係機関等におつなぎします。

肢体障害・内部障害

椀澤 春雄	24-9527
田辺 範男	34-4644
土田 清海	090-2306-6305
金子 隼土	090-7267-2320

聴覚障害

田中 敏榮	36-8078
-------	---------

視覚障害

五十嵐政男	33-6844
-------	---------

栃尾地域

佐藤 豊徳	52-3030
-------	---------

中之島地域

小林 信栄	66-6176
-------	---------

和島地域

佐々木雅敏	74-2838
-------	---------

川口地域

大淵 時江	89-3612
-------	---------



聴覚障害者との心のコもったコミュニケーションのために

③ ご用件はなんですか？



**朝必要・用事・要る・
所要・ねばならない・
かかる（費用、時間等）・
べき**

【必要】

・両手の4指を曲げて指先を向かい合わせたら両手を自分側に強く引き寄せます。



何？何か？どうしたの？

【何？】

・人差し指を立てて横に振ります。

長岡市への要望と回答について

昨年10月24日の長岡市との意見交換会において提出した要望等に対する回答が12月29日に長岡市からありました。主要なものの要点をお知らせします。

【要望】

会員拡大のための各協会及び各地域協会の会報やパンフレットなどを福祉窓口や各支所市民生活課に設置し、市政だよりへの募集記事の掲載など、ご支援いただきたい。

(回答)

チラシや会報の設置は今後も続けていきます。市政だよりへの募集記事の掲載については、「みんなの広場」というページに、イベント案内や会員募集の記事を掲載することができます。1年に1回になりますが、原稿を提供いただければ福祉課で広報課へ掲載の依頼を行います。(福祉課)

【要望】

障害者を含めた避難所等における災害時の避難・支援体制の確立やその訓練、体験などにご尽力いただきたい。

(回答)

今後も、災害時に開設する避難所の防災センター長等に対して、マニュアル化されている要配慮者への対応の周知徹底を図るとともに、市主催の防災訓練などの機会を通じ、災害時の福祉避難室(所)の役割の周知や、開設訓練等の実施について検討してまいります。(福祉総務課)

【要望】

長岡市社会福祉センター「トモシア」について、

(2) 福祉登録団体等の施設利用に係る長岡市提携駐車場料金の免除を継続していただきたい。

(3) 窓口でアオーレの手話通訳者とオンラインパソコン等により、手話通訳対応できるよう環境整備をお願いしたい。【ろうあ者福祉協会】

(回答)

(2) 福祉登録団体の施設利用に係る長岡市提携駐車場の無料処理については、当面現状を維持するとともに、今後も「トモシア」の利便性の向上に努めていきたいと考えております。

(3) 社会福祉協議会と共に検討してまいります。

(福祉総務課、福祉課)

【要望】

障害者手帳のカード化に対し、引き続き新潟県に働きかけていただきたい。

(回答)

今後も、県に要望してまいります。(福祉課)

【要望】

長岡大花火大会の障害者席用駐車場が当日空席の場合は再抽選などを行い、障害者が多く入場できるようにしていただきたい。【肢体障害者協会】

(回答)

主催者の長岡花火財団から、「御指摘のとおり、利用していない駐車場が発生する事態になっておりました。今後は、より多くの方にご観覧いただけるよう再抽選やリセールサイトの活用などを検討してまいります。」と回答がありました。

(観光事業課)

【要望】

市から水害用のハザードマップが全世帯に配布されたが、視覚障害者の一人住まいの方へは、音声でのハザードマップの作製をお願いするとともに障害者各人に応じたきめ細かい支援対策をお願いしたい。【視覚障害者福祉協会】

(回答)

視覚障害者版洪水ハザードマップの作製に着手し、点字版のほか、音声情報としてデージーCD版と一般CD版の2種類を作製いたします。今後、配布対象者に希望調査を行い、来年度の配布を予定しております。(危機管理防災本部)

【要望】

すこやかともしびまつりの総合受付に手話通訳員を配置していただきたい。【ろうあ者福祉協会】

(回答)

すこやか・ともしびまつり実行委員会へ提案し、検討してまいります。(福祉総務課)



設立50周年記念事業 障害者川柳

昨年、連合会は設立50周年を迎え、その記念事業のひとつとして、全国から「障害者川柳」を募集しました。寄せられた1,800近い応募作品の中からピックアップして、このコーナーでご紹介します。障害者の暮らしや日々の思い、言いたいことなどが五・七・五の短い言葉の中から、涙と笑いとともに見えてきます。



解説 室井 泉柳

手話覚え 君との距離を 密にする

アカエタカ 宮崎県 男

【解説】 コロナ禍では「密」はいけません、手話を覚えて、お互いの関係がより緊密になるのは素敵ですね。「君」とは彼でしょうか？彼女でしょうか？

満開を 指・鼻・耳で 知る桜

たかちゃん 香川県 女 視覚障害

【解説】 視覚障害者は満開の美しい桜を直接目で楽しむことはできませんが、香りや手触りなど、五感で楽しむことができます。耳をすませばピンと弾ける、花卉の開く音さえ聞こえてきます。

悪口も 知らぬが仏 笑みかえす

新潟県 女 聴覚障害

【解説】 最近はSNS上の書き込みが話題になっていますが、どんな悪口を言われても耳が聞こえなければサラリと受け流すことができます。悪口を言って笑顔を返された人は一体、どんな顔をするのでしょうか？

【事務局連絡先について】

現在、身障連事務局の連絡用電話を設置するための検討を進めています。ご不便をおかけしますが、決まるまでの間、電話090-2306-6305(土田)にお願いします。なお、メールは「nagaokasinsyou@yahoo.co.jp」にお願いします。右QRからもOK!



協会からのレポート

川口身体障害者福祉協会 会長 大淵時江

昨年度の活動として、コロナ禍の中ではありましたが、小千谷市内の歴史探訪を行いました。

参加した会員からは、「普段立ち入りできないところにも入れてよかった」との声があり、とても好評でした。

また、恒例のクリスマス会など中止となる中、コロナ予防対策として、会員の皆様にマスクや手指の消毒薬を配布しました。

会員については、全国的に高齢化と減少化が進行していますが、当協会では、昨年度に一人お亡くなりになりましたが、障害者手帳をお持ちのお知り合いの方々に協会への加入を呼びかけたところ、4人の方から加入

いただくことができ、総勢13人となりました。

今年度は総会を開催し、どんな活動をしていくか話し合いをしたいと考えています。



身障連ホームページについて

50周年記念事業の一環としてホームページを開設しました (<http://shinsyoren.web.fc2.com/>)。なかなか更新できずしておりますが、皆様からのご意見や投稿などお気軽にお寄せください。かわら版やホームページなどに掲載いたします。

また、ホームページの運用をお手伝いできる方を募集しています。事務局に連絡ください。



<http://shinsyoren.web.fc2.com/>

【編集後記】

新年度に入り、当連合会も新しい役員をお迎えしました。第1回理事会も新たな気持ちで出発できたように感じました。

新緑が美しい季節となり、山菜の恩恵にあずかっています。また、気候も穏やかになり、これでコロナが収束してくれると嬉しいのだけれど、やっとワクチン接種では、まだまだ先が見えませんが、8月の納涼まつりには収束してほしいものです。

(K・T)